

Web 学校評価【5月】の結果

- 1 方法 5月29日(金)～6月1日(月) まちこみ「イベント出欠」による
- 2 問い 「学校は、この一ヶ月の学校運営を適切に行っているか」
- 3 結果 (527人から回答をいただきました)

実施月	○適切に行っている	×適切に行っていない	△どちらとも言えない
4月	434人(80.5%)	4人(0.7%)	101人(18.7%)
5月	464人(88.0%)	4人(0.8%)	59人(11.2%)

- 4 主なコメント【回答】 ※内容ごとに整理し、まとめて表現しております。

《感染予防》

- ◇感染対策に関しては、もはや生徒それぞれ、また、保護者、家庭の考え方などもあると思います。生徒たちの中で検温を忘れていたりしている子がいるのを聞くと、生徒と保護者の中に気の緩みが出てくる時期かと思imasので、学校でその都度お話ししていただき徹底していけたらと思います。それぞれが、感染がこれ以上広まらないようにと考えていくしかないと思います。
- ◆感染防止対策はいろいろやってくれているとは思いますが、ただ、これから気温が高くなりマスクをしているのが辛い時期になってきます。学校側では、生徒の暑さ対策や熱中症対策などは考えているのでしょうか。
- ◆担任が、教室でマスクを外しているのこのことをこの一週間を確認して聞いていました。生徒に対して指導する前に、まず先生が感染予防の意識を持ってください。
- ◆先生が、授業中苦しいからといい、最初から最後までマスクを外して授業をしていると聞きました。マスクを外したまま、至近距離で話しをすることもあそうです。子どもも不安を感じているようで、マスクをしてほしいと言っています。
- ◆手作りマスクについて、新学期に使用するのなら、配布するときに説明がほしいかったです。

《学習面》

- ◇遠隔授業の様子を近くで聞いていましたが、ゆっくり、丁寧な指導でとても分かりやすい授業でした。
- ◇臨時休業中の遠隔授業、とても良かったと思います。ただ、もう少し長くても良かったかと。
- ◇頑張り西中！先生方も頑張り！と応援の気持ちでいっぱいです。
コロナの第二波や冬の再感染拡大に備えての遠隔授業などの備えもよろしくお願ひします。
- ◇ズームでの遠隔授業は、先生方の惜しみない努力と勉強のおかげで、回を重ね

る毎にどんどん双方向での授業の良さがでてきていたように見えていたので、学校再開による遠隔授業の休止はうれしい限りですが、折角のスキルと活用の場がなくなってしまうのは残念に思います。この機会を良い方に捉えて、また何か違う形で学校の間でも積極的に活用されるといいですね。

- ◆Web授業の時間が短すぎます。学校の問題ではなく、教育委員会の配慮が足りないのかもしれませんが、平等な取り扱いを希望します。
- ◆遠隔授業、先生方の声が途切れ途切れで、聞き取れない部分もあり、子どもは何を言っているの？みたいなことが何度かありました。
- ◆先生方も慣れない遠隔授業を一生懸命やってくださりありがとうございました。休校中でも時間が決まっていたことや、学校や友達とつながっているという意味では良かったのかと思いますが、長期休業中ぐらいの課題も出してほしかったです。本人が、自分の意思で自主学習できれば良かったのでしょうか…。
- ◆遠隔授業の時間数が周辺中学校とかなり違っていたので、差が付いたと思います。登校してからの授業で追いつくと考えているかもしれませんが、最初に付いた差はなかなか埋まらないと思います。宿題も少ないように感じます。西中は、余り勉強に力を入れていないように感じます。

《生活面》

- ◇4月はこれからの学校生活に不安を見せていましたが、いざ学校生活が始まったら「やっぱりみんなと会って話せると楽しい」と喜んでます。去年とは違う学校生活になるとは思いますが、新しい人との関わり方を身に付けてほしいと思います。
- ◇学校再開、とても子どもが喜んでいました！学業が本分だからという意見が多数なのでしょうが、学校は勉強だけではなく文武両道、人として心身ともに成長ができるとても大切な場だと思います…。なので、授業とともに部活も再開し、先生方や友達、先輩との再会や交流もできる文武両道の面でのスタートを決断してくれた西中に感謝しています。自分たちのために、先生方をはじめとした周りの大人たちが、今できる限りで何とかしようとしてくれている姿は自分もその心意気に報いようと頑張るきっかけとなっているように見えます。
- ◆牛乳パックの解体の仕方について不衛生です。小学校でもちゃんと洗っていました。
- ◆給食時の牛乳パック開封に対する意見。飲んだ後の開封作業はとても不衛生に感じた。手に牛乳がついてしまう。泉川小や浪館小のように、きれいに水洗い、一日乾燥させ、翌日に解体するなどの対応をお願いします。
- ◆気は抜けませんが、コロナも落ち着き子どもが学校に行けて良かったです。もし、余裕があれば、カバンの重さをもう少し軽くできるよう、荷物の量を検討いただ

けるとありがたいです。部活の再開を喜んでいました。図書室の再開も心待ちにしています。

- ◆全体的な取組は問題ないと感じるが、子どものバックごと計ると9キロにもなる教科書やノートを持ち運びさせているのは疑問だ。その日持ち帰っても自宅で勉強する際に必要ないと判断したものは学校に置いて帰っても良いのではないか。
- ◆毎日先生方が試行錯誤で頑張ってくださいありがとうございます。制服は毎日洗えないので、ジャージ登校にしてほしいです。修学旅行、以前のアンケートでは、学校にお任せすると答えましたが、この長引きようを見ていたら、東京にいかせるのはかなり不安です。
- ◆市営バスで通学しているので早めに学校に着いてしまうのですが、冬の間だけでも玄関を開けてほしいです。
- ◆欠席連絡の欄は、いつから使用できるようになるのでしょうか。

《その他》

- ◇遠隔授業や分散登校、タッチ＆ゴーなど、初めてのことばかりだったはずなのに、すごく的確で素早い対応で、西中の先生方は素晴らしいと思いました。その熱意はしっかり子ども達に届いていると思います。いつもありがとうございます。
- ◇日々変わる状況の中で、連絡や報告は密に行っていると思います。状況が状況だけに、予定がなかなか立てられないことも多いと思いますが、タイムラインなどを使って情報収集できるのはありがたいです。
- ◇新型コロナウイルスの自粛及び在宅授業、マチコミ等を使用しての連絡は迅速で良いと思います。特に学校玄関に張り出しは、続けていただきたいと思います。
- ◆必要な情報、理由等を簡潔に。連絡しすぎても、惑わされてしまいますので。

学校からの回答【感染予防】

◇夏場の対策について

6月に入り気温も高くなってきました。これから本格的な夏を迎えるに当たり、熱中症と感染症を同時に予防することは、重大な課題と捉えています。

特にマスクの扱いについては、政府や市教委から示されるガイドラインに沿って適切に対応していきます。

なお、教室環境は、できるだけ風通しを良くするよう、教室のドアを外し、扇風機で空気を拡散します。また、こまめに水分を補給させたり、体育館に大型扇風機やミストシャワーを設置するなどして、熱中症に備えます。

◇マスクについて

本校教員がマスクを着用せず、至近距離で授業していたとのことで、大いに反省するとともに深くお詫び申し上げます。全教職員には、生徒の命を預かる身として適切に行動するよう改めて指導しました。

また、手作りマスクの配布時に説明がほしかったとのことですが、これも説明不足だった点をお詫びします。マスク不足が社会問題となっている折、家庭科の最初の授業で作成する教材にと考えておりましたが、学校再開の目処が立たなかったため、急遽4月7日の入学式及び翌日のタッチ&ゴーで配布しました。説明したつもりでおりましたが、上手く趣旨が伝わっていなかったようです。すいませんでした。

なお、口の開きを見せながら発音の指導をしなければならない英語科や、難聴学級の生徒への指導では、マスクを取らなければならない場合もありますので、その対策として、教師用「フェイスシールド」を準備しております。

学校からの回答【学習面】

◇遠隔授業について

本校でもそれなりに遠隔授業を行うことができるようになりました。今後、市教委で大容量のルーターを配備するとのことですので、授業時間や回数を増やすことが可能になります。いつまた、遠隔頼みの状態になるかもしれないので、準備に万全を期す覚悟です。なお、7月には、保護者対象に、ZoomによるWeb学年懇談会を計画しています。

◇西中は勉強に力を入れているのか？

遠隔授業の時間が短い、宿題の量が少ないことで、学校が勉強をおろそかにしていると感じているとすれば、大きな誤解です。ただ「宿題がなければ何もしない。」「20分の遠隔授業が終わればそれで一日の勉強終了。」という生徒がいたのだとすれば、学校の指導が不十分だったと言わざるを得ません。本校では「学力の向上」を最優先に考えていますし、そのための方策も計画的に行っております。このことについては、別の機会に説明します。

学校からの回答【生活面】

◇牛乳パックについて

このリサイクルを始めて5年ほどになりますが、あまり問題視されたことがなく正直驚いています。生徒が個々に洗いに行くと洗面所が混雑し、時間もかかるため、各自解体し、その後、係の生徒がまとめて洗って乾かすという方法をとっていました。このことについて改めて検討します。

◇重いスクールザックについて

このことは、健康面、安全面からも改善すべきと考えていました。昨年度末

に全校生徒会が「西中改革」の話題の一つとして話し合い、試行的に実施し、いたずら防止等様々な問題を生徒自らに考えさせてから実施する予定でしたが、コロナによる臨時休業に突入してしまい中断していました。準備を整え、できるだけ早く実現します。

◇行事について

国が示した学校再開ガイドラインによると、修学旅行や文化祭など大きな行事は、教育委員会の助言により実施の有無を判断することとなっています。

本校の修学旅行は、現時点では11月に延期しておりますが、実施の有無等改めて保護者の皆さまの意向を確認した上で対応して参ります。

◇その他について

現在市内で2番目に多い507名の生徒が在籍している本校では、最低限のルールを定めています。しかし、507名にはそれぞれ違う事情があります。全て一律に対応するとは考えておりませんので、何かありましたら学校にご相談ください。

なお、まちこみの欠席連絡機能は早速可能としています。昼休みの図書室も密を避けるため学年別に開放しています。制服登校かトレパン登校かについては、状況により判断します。

学校からの回答（結びに）

5月の「Web 学校評価」への回答ありがとうございました。ご指摘いただいた件については、個別に回答あるいは即対応、検討しております。

さて、通常どおり学校が再開され、授業や係活動など日常の学校生活が戻ってきました。部活動も短時間で密度の濃い練習を心掛けていますが、怪我の功名か、今までにない姿を見せています。それは、1会場1つの部で活動時間を1時間限定にしたおかげで、手の空いている先生方がそれぞれの部の練習に協力しているということです。運動部だけでなく、科学部の活動に理科の先生方が大集合、さながら大学の研究室の雰囲気醸し出していました。今後、段階的に活動の幅を広げていきますが、生徒の健康を第一に考えていきます。

これからの課題は、夏の暑さです。前述しましたが、国のガイドラインに沿って、安全・安心な感染対策と教育活動を実践して参ります。

今後におきましても、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年6月2日

青森市立西中学校
校長 今別幸司